

イベント報告書

1. 用務 赤十字親子防災スクール
2. 日時 平成28年10月8日(土)8:00~10日(月)16:00
3. 場所 宮城県蔵王自然の家
4. 参加者 (1)一般参加者 保護者13名 児童14名 計27名 指導スタッフ(防災教育推進員6名)
仙台管区気象台職員1名 蔵王自然の家職員9名 支部職員3名
5. 概要と感想

(1) 事業はほぼ別紙日程表通り進められたが、一日目の避難所体験プログラムのうち山小屋に宿泊し、寝袋で就寝する予定であったが寒さのため本館泊まりに変更した。それ以外のプログラムは予定通り実施することができた。

(2) 感想

- ①新規事業でもあり、小学校全加盟校への案内、河北新聞での募集告知、加盟校該当学年保護者へのチラシ配布等試みたが、応募数31名、キャンセル4名実参加者数27名に留まった。(定員50名)今後継続実施するためには、更に広報宣伝の工夫を図らなければならないと考える。
- ②指導スタッフには、防災教育推進員より6名委嘱した。演習プログラム等の指導において特に活躍していただいた。養護教諭の推進員を1名配置したことにより、健康安全面への対応が行き届き、病気・ケガ等皆無であった。自然の家職員には、避難所体験プログラムを中心的に指導いただき、成果を上げた。野外活動でも大きな支援をいただき、事故なく終えることができた。仙台管区気象台との共催のあり方については、職員の共催への意識や協力体制について、今後話し合う余地があるように感じた。
- ③参加者は、一様に参加意欲が高く、協力的であった。特に多動的な児童に対する配慮や対応はスタッフも含めて素晴らしかった。(当該保護者の方も感謝していた)
- ④防災意識や心構えを高めるものと災害時に役立つ能力を身につけるものをバランスよく研修プログラムに、入れることが大切だと感じた。参加者同士のコミュニケーションが良好に図られ、親睦交流が深まるプログラムの工夫も必要である。
- ⑤児童が大人も混じったグループの中にあっても堂々と意見を出している姿に感嘆し、親子が力を合わせて取り組む姿に微笑ましさを感じた。



